

申請理由書

※ 該当箇所に○又は記入する。

※ 新たに認定又は要件確認の継続を申請する場合は1から3まで、別居の場合は加えて4を記入する。

1 申請する扶養親族の氏名等

氏名	東京 光子	組合員との続柄	母
生年月日	昭・平・令 28 年 5 月 9 日	年齢	71 歳

2 扶養の認定を受ける親族の収入状況

収入がある場合	収入の種類	・年金 ・パート・アルバイト等 ・事業収入 ・その他 ・恩給 ・雇用保険 ・給与 ・不動産収入		
	収入額（年間推定額）	年額	1,443,800	円
		月額		円
		日額		円

※ 収入がある場合は、上記収入の種類に応じた証明書を必ず添付すること。

収入がない場合は、非課税証明書等を添付すること。

3 組合員が扶養することになった経緯、他の扶養親族が扶養できない理由 （又は要件確認の継続理由）

父は5年前に事業をやめ、両親とも今まで私の兄が扶養していたが、兄が死亡した。
私のほかに弟が1人いるが、弟の子どもはまだ大学生であり学費等に経費がかかるため経済的に苦しい。
弟と話し合いの結果、私が両親とも扶養することとなった。

※ 被扶養者の要件、添付資料等詳細は「福利厚生事務の手引」の被扶養者認定等の手続の項を参照すること。

4 組合員と別居している場合

(1)	別居先の住所	東京都小金井市桜町〇-〇-〇		
※ 扶養手当有の場合は、(2)欄は記入不要				
(2)	別居先への送金額	年額		円
		月額	80,000	円
	送金方法	振込		
(2)	別居先での同居の扶養義務者の有無	有		
		・無		
※ 扶養義務者が「有」の場合は、別居先の扶養義務者が扶養できない理由を3に記入するとともに、非扶養証明書を添付すること。				

上記のことについて、事実と相違ないことを申告します。

なお、将来において、上記の事実と異なる状況になった場合には、速やかに申告することを誓約いたします。

令和 6 年 5 月 10 日

公立学校共済組合東京支部長 殿

(枝番)

組合員証番号	0	1	2	3	4	5	6	7	0	0
--------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

組合員氏名 東京 太郎

(令和6年1月)